



# 店の数や市場規模、起源… 国民食だけど、 なぜが山盛り

## 私と遺産

### ”横綱“に對抗、燃える旭川

旭川市の人気ラーメン店「よし乃」社長の浦野勉さん（66）は、市内の有力店30店をつくる「ラーメンの会旭川」会長。ラーメンによる”まちおこし“のキーマンとして活躍する。

「札幌でおいしい店は10軒に3軒、旭川では10軒に7軒——というのが東京のラーメン通の評価ですよ」。横綱ブランド「札幌ラーメン」への対抗心を燃やす。人口36万人の同市に店は500軒前後。市内で2年以上営むことがラーメンの会の入会条件で、そっくり社団法人「北海道全調理師会」に加入する。ラーメン店が組織化され調理師会に加わるのは、全国的にも異例だという。

「旭川ラーメンの名は確実に浸透している。『他流試合を恐れず、気を抜くな』と会員にはつばをかけています」

旭川市生まれの夕張市育ち。郵便局職員を経て北炭夕張新鉱にもぐっていた。62人が死亡した65年のガス爆発事故を間一髪でまぬかれ、それをきっかけに転進。31歳で店を構えた。「最初の5年は試行錯誤の連続でした」。納得できるものが作れるまでに10年かかった。

「有力専門店を集めた、全国組織を作りたい」と壮大な夢を胸に描く。